

令和3年度 第1回「地域フォーラム」

三郷町の土地利用とまちづくり

令和4年1月16日

三郷町長 森 宏 範



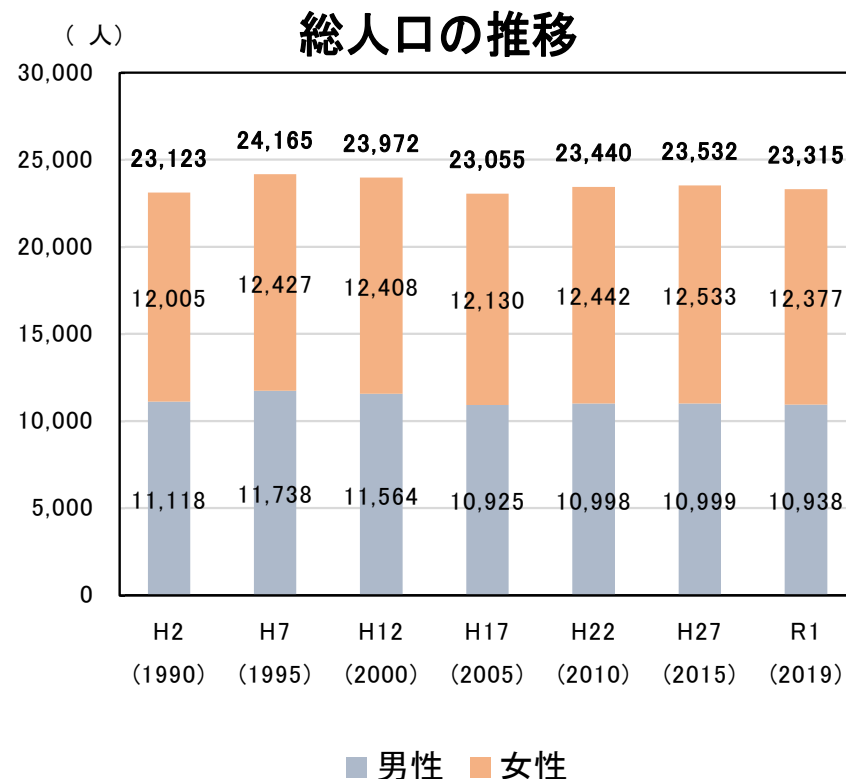
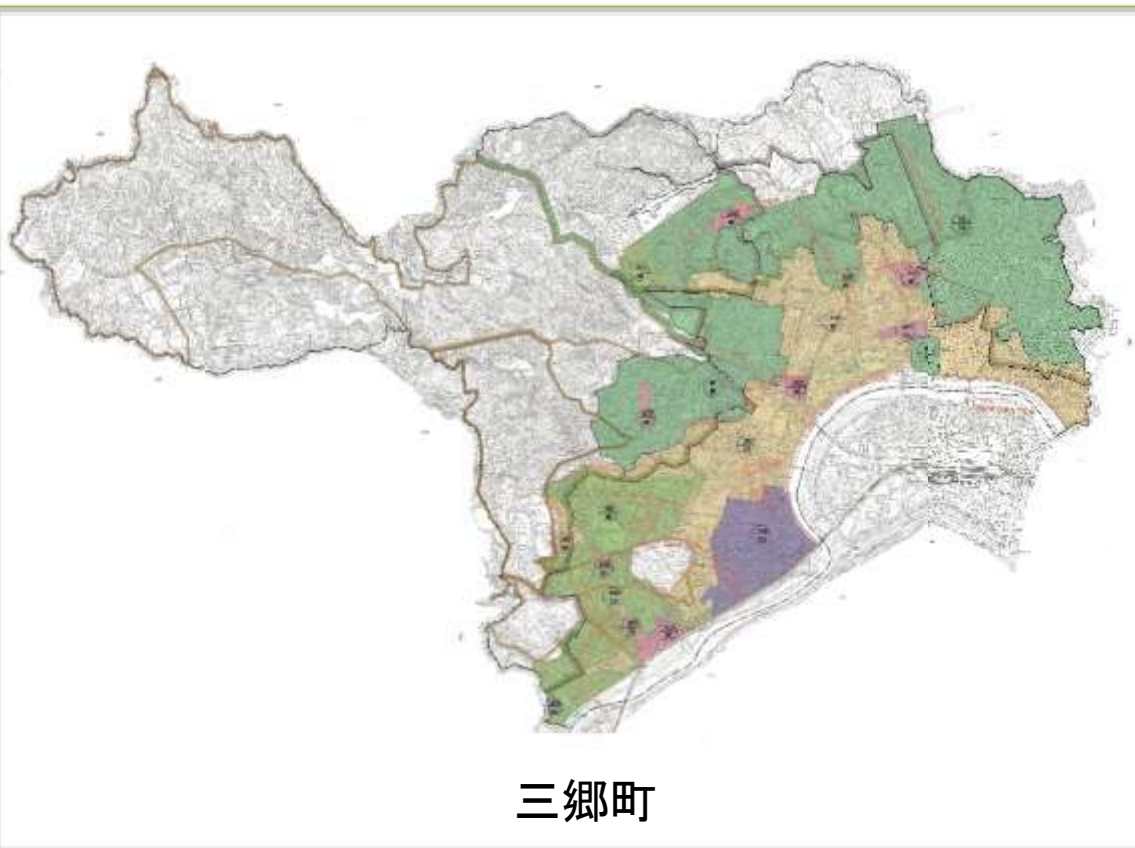
SDGs未来都市さんごう



日本遺産

JAPAN HERITAGE

1. 三郷町の概要



人口:22,822人(令和3年10月1日現在)

世帯数:10,646世帯 面積:8.79km²

三郷町の人口は、平成7年の約24,000人をピークに微増・微減の横ばい状態で推移している。
死亡数が出生数を上回る**自然減**、転入数が転出数を上回る**社会増**となっている。

2. 三郷町の都市計画の変遷と課題

平成8年3月

三郷町都市計画マスタープラン 策定

※マスタープランに基づいて、勢野北部土地区画整備事業等の施策の実施

三郷町における課題

惣持寺地区の水害

三郷町の惣持寺地区では、これまで幾度も浸水被害に見舞われてきた。平成29年10月の台風21号では、床下床上あわせて10棟以上というこれまでにない甚大な被害が発生した。
このままでは、今後激甚化することが想定される風水害に対応できず、より多くの浸水被害が発生する恐れがある。
これを受け、惣持寺地区は**奈良県平成緊急内水対策事業**に選定され、雨水貯留施設（調整池）の整備事業に着手。
令和3年12月には大和川が**特定都市河川**に指定され、国・県・町が連携し、**流域治水対策**を強力に推進。
「国土の強靱化、災害のないまちづくり」の実現を目指す。

奈良学園大学の移転

令和4年3月に三郷町内にある奈良学園大学が移転されることとなった。
最盛期で4,500人の生徒・職員を有した大学の移転は、**「関係人口の減少」、「地域経済の衰退」**という三郷町にとって非常に大きな課題と捉えている。
このままでは、都市の空洞化が起こり、地域の衰退が加速する恐れがある。
そこで、大学跡地を「FSS35キャンパス」として活用し、**「地域再生」と「全世代・全員活躍型『生涯活躍のまち』」**の実現を目指す。

三郷町都市計画マスタープラン 改定

※奈良県の都市計画マスタープランの改定も反映

適切なまちづくり

地区計画の策定

3.三郷町の水害対策 ①三郷町の治水事情



三郷町の周囲の長さが約17kmに対し、実に4kmが大和川と接している。

住宅地が大和川沿いに連なっている

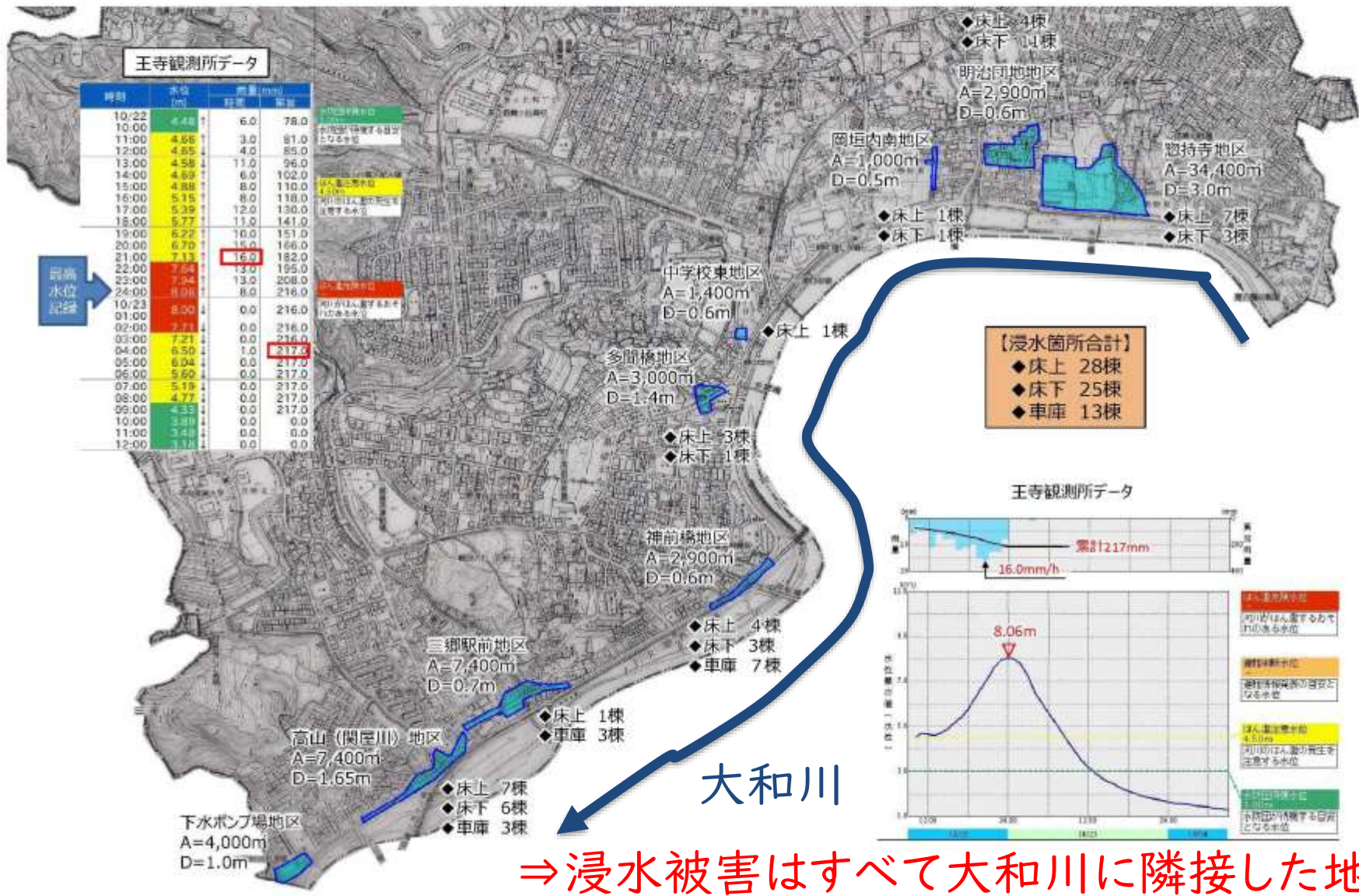
しかも、その4kmの延長全てが住宅地となっているため、

常に水害と隣り合わせ

となっている。

3.三郷町の水害対策 ②三郷町の浸水被害

平成29年10月22日（日）台風21号豪雨による浸水実績箇所



浸水箇所状況写真



あわわわ…

三郷町立野南地区

三郷町勢野東地区

道路や住宅が浸水し、大量の土砂が堆積、堆積土砂の影響で悪臭や道路の通行に支障をきたすなどの被害が発生！



3.三郷町の水害対策 ④惣持寺地区の経緯と現状と今後の実施計画

位置図



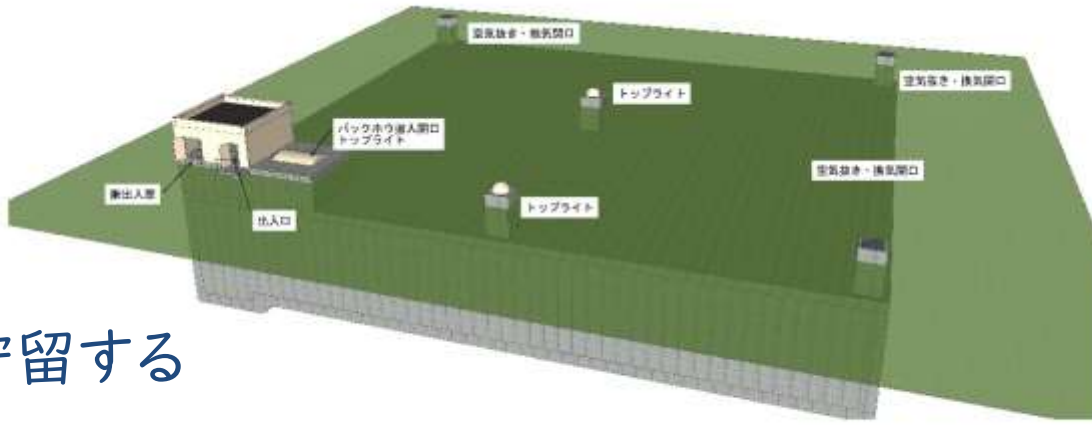
経緯とこれからの予定	
H25、H26	浸水被害あり、H26は床下3戸の被害
H29.10	台風21号で被災 床上床下あわせて10戸以上の浸水被害
H30.5	奈良県平成緊急内水対策事業に選定
H30.6~H30.12	雨水溢水地区調査業務
R1.9~R2.3	惣持寺地区予備設計
R3.2~R4.3	惣持寺地区詳細設計(現在実施中)
R3.12.24	大和川が特定都市河川に指定
R4年度、R5年度	工事着手予定 工期約2年

3.三郷町の水害対策 ⑤惣持寺地区調整池概要

平面図

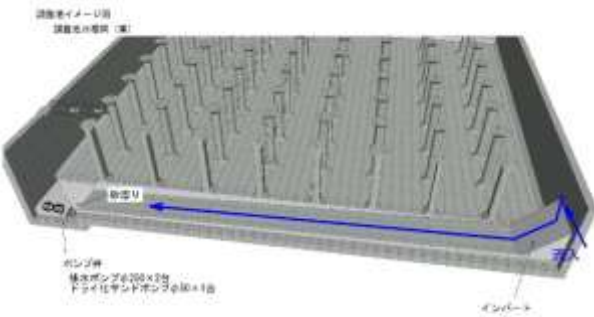
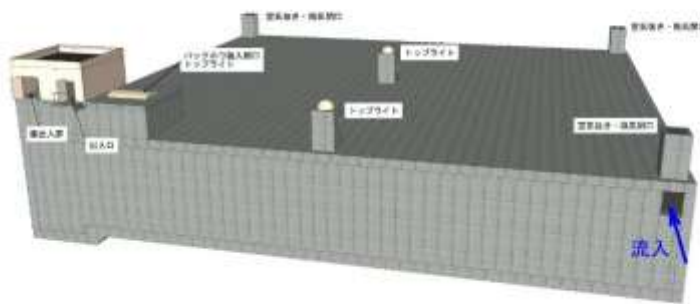


調整池 完成イメージ



内水を貯留する

調整池イメージ図 構造体図 (案)

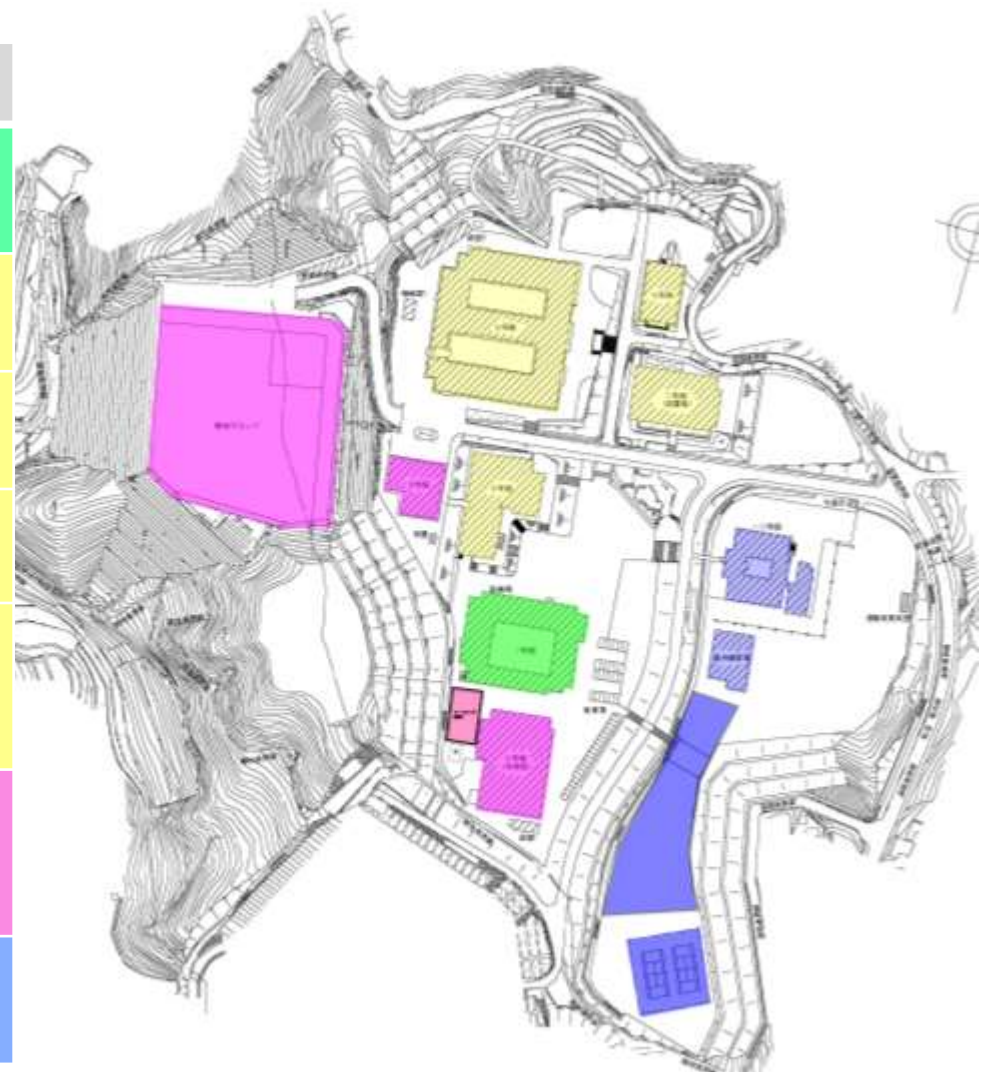


調整池計画諸元	
計画貯水量	16,500m ³
敷地面積	約5,000m ²
最大貯水深	6m

4. 三郷町のこれからのまちづくり

① 奈良学園大学跡地活用における全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」づくり

運営事業者	運営施設	運営内容（概要）
医療法人藤井会	1号館	・サービス付き高齢者住宅等
檸檬会・ハウディ・あをに工房事業共同体	2号館	・カフェテリア ・保育士・介護福祉士の専門学校等
	5号館	・障がい者・高齢者の就労支援施設 ・児童福祉施設等
	6号館	・障がい者のグループホーム等
	7号館	・ブックカフェ ・保育・教育・福祉に関する研究所等
奈良学園大学	3号館、8号館、マーチング部室グラウンド	・部活利用
三郷町	10号館、スポーツ施設等	・サテライトオフィス ・スポーツパーク



4. 三郷町のこれからのまちづくり

②奈良学園大学跡地活用における全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」づくり



コンセプト：全員が主人公！ みんないきいき！ ボーダーレスコミュニティ FSS35 キャンパス

奈良学園大学三郷キャンパスの移転に伴い、大学跡地を「FSS35キャンパス」とし、「未来技術」「SDGs」「共生社会」を3つの柱に、「生涯活躍のまち」実現に向けた核となるエリアとする。
SDGs未来都市として、基本理念である「誰一人取り残さない社会」から年齢、国籍、人種、障がいの有無に関係なく、全ての人がいいきいと遊び、学び、働き、生活し、活躍し、交流するボーダーレスコミュニティの全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」を創造する。
「地域共生社会」の実現に向けた「重層的支援体制整備事業」の実施。（令和3年度は、移行準備中）

未来技術 **F**uture Technology
SDGs **S**ustainable Development Goals
共生社会 **S**ymbiotic Society

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】

- ・サービス付き高齢者住宅、高齢者・障がい者のグループホーム、専門学校、日本語学校、児童施設、サテライトオフィス等が整備され、幅広い世代や障がい者や外国人も利用するエリアとなる。
- ・スポーツパークやブックカフェ・食堂も整備することで、地域住民も集まる場所となる。

【今後の展開】

- ・カフェテリアや食堂を障がい者と高齢者が一緒に運営できる仕組みをはじめ、エリア利用者が交流できる機会の創出

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】

- ・高齢者、障がい者の就労支援の実施
- ・サテライトオフィスの整備で、利用企業による雇用の創出、また子育て・介護による時間的制約がある方にテレワークの推進

【今後の展開】

- ・地域内の雇用創出に伴う転出者の減少
- ・障がい者、高齢者の一般就労の促進
- ・仕事以外の役割の創出

「健康づくり」

【主な取組内容・進捗状況】

- ・施設入所者の健康増進を図り、訪問看護・通所介護により、地域高齢者の健康支援も行う。
- ・ナーシングホームにより、医療・介護の両方のケアが必要な方の支援を行う。
- ・スポーツパークやフィットネスジムを通して、住民の健康増進を図る

【今後の展開】

- ・心身両面における健康に加え、人との関わりによって満たされることも重要であり、人と人の関わり（交流）を増やすことに取り組む。
- ・看護小規模多機能施設を誘致し、地域高齢者、医療的ケア児の支援も行う。

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】

- ・サービス付き高齢者住宅、障がい者グループホームにより、高齢者・障がい者の住まいを確保

【今後の展開】

- ・高齢者、障がい者両方の機能を有する共生型グループホームの設立
- ・専門学校等学生の住まい確保

「コミュニティへの人の流れづくり」

- ・施設利用者だけでなく、町内外の方にも利用いただき、関係人口の増加を図る。特に、サテライトオフィスやスポーツパークを積極的に周知する。
- ・エリア内利用者が交流できる環境を構築することが重要。イベント等の企画により、交流できるきっかけを本町で行い、将来的にはエリア利用者が自然に交流できる関係を築く。



ご清聴ありがとうございました



SDGs未来都市さんごう



日本遺産
JAPAN HERITAGE